

# NPO/NGO アジア キッズ ケアだより

【住所】〒791-3131 愛媛県伊予郡松前町北川原 1054-3 【発行者】代表:喜安 美紀 【発行日】2025. 4. 23(通巻第 22 号)  
【HP】<https://asian-kids-care.com/> 【E-mail】[kids@asian-kids-care.com](mailto:kids@asian-kids-care.com) 【団体設立】2004. 2. 11 【法人設立】2011. 9. 13  
【TEL】090-5912-4515(事務局長:喜安) 【郵便振替】口座番号: 01600-5-13009、口座名義: NPO法人アジアキッズケア  
【ゆうちょ銀行】店番:169、店名:一六九店、口座番号(当座):0013009、受取人名:NPO法人 アジアキッズケア

2023年2月にフィリピン・ミンダナオ島の貧困地域の子供の許へ、翌2024年6月には継続して支援してきたインドの孤児院の子供を訪ねて交流。現地の生活・教育環境を見て彼らのニーズを知ることの大切さを再認識するとともに、みんなで力を合わせて支援活動を継続していけば子供たちの夢や希望を実現することができるかと実感しました。

子ども食堂も4年目を迎え支援とボランティアの輪が広がっています。ご協力いただいた皆様に心から感謝します。

2025. 4. 23

NPO法人アジアキッズケア 代表:喜安 美紀、事務局長:喜安 勝也

## インド・チェンナイ近郊の孤児院訪問 … 日本の皆様のまごころを添えプレゼント

昨年6月27日から7月2日までインド・チェンナイ近郊の町を訪問。コロナ禍が一段落し、松山福音センターの万代牧師に同行して念願だったインドに行くことができました。目的は観光ではなく、支援の母体となるタンガチャン牧師の教会や貧しい家庭等を訪ね、加えて孤児院の子供に衣類、文房具、楽器、菓子等を直接プレゼントするためです。



受け取った子供の笑顔を見てとても嬉しい気持ちになり、現地の人々との交流や歓迎は温かく胸に響きます。孤児院の子供の現状や将来設計等の意見交換や親交を深めることができ、有意義な機会となったことを喜んでいきます。



インドは世界最大の人口14億の国、町は活気に溢れ開発は進んでいますが貧富の差は益々広がり、カーストによって職業選択や学校教育等が制限される厳しい現実も。私たちのできることで今後も支援を継続し「ナンディー(タミール語・ありがとう)」と将来笑顔で言い合いたい。世界中の子供に平和と幸せが訪れ、健やかに成長するように。

## ハレルヤ子ども食堂 … 困難な状況にある子供と家族、高齢者等の笑顔のために

「ハレルヤ子ども食堂」を2021年11月より始めて3年半。ボランティアがまごころ込めて調理した食事(会食形式)や食材等が入ったハレルヤラブバッグを提供しています。また親子一緒に楽しむレク・農業体験・音楽コンサート等のイベントを開催し、笑顔いっぱいの温かい居場所になっています。受益者の笑顔や幸福感が、支援者に人々のために役立つ生きがいを与えてくれています。地域の皆様と共に共生社会の一助となることを願っています。



- 日時: 毎月第2・4土曜日 11:30~13:30 ○参加費: 子供無料、大人200円(75歳以上は無料) ※どなた様も歓迎
- 会場: 松山福音センター(松山市平和通1丁目6-6、TEL089-925-1008) ※駐車場有、ボランティアも大歓迎



## ブータン「幸せの国」の現実・・・子供は家族のために手伝いをして地域で助け合う

「ブータンってどんな国？」ブータンから来日したレキさんの説明に、参加者は「幸せの国」の実情を知って驚きの表情。2025年2月16日(日)の寒空の中、近隣の中学・高校生等を含めた約40名が集い、支援物資の荷造りボランティア。富士山より高い標高の厳しい自然環境、電気やガス等のインフラは未整備、学校・病院・商店も近しくなく、家族のために薪拾い等の手伝いをする子供たち。地域住民が互いに助け合う暮らしの中で、日本から届けられた文房具・楽器・衣類・長靴等を手に笑顔になり、宝物のように大切に学校に行くために役立っているそうです。



最後に民族衣装(キラ)に着替えたレキさんからブータンを代表して感謝の言葉があり、私達もゾンカ語で「クズザンポーラ(こんにちは)、カディンチェラ(ありがとう)」のビデオレターを撮影し荷物と一緒に現地に届けました。

## 老若男女のボランティアが協力して調理・・・皆様の幸せを願って社会貢献活動

ハレルヤ子ども食堂は、若いボランティアが大活躍。高校・大学生が尊敬を込め「師匠」と呼ぶ高齢の方々に調理方法等を学びつつ手際よく料理。100名を超える来場者のためにまごころ込めておもてなしも頑張ってくれています。会食後、「とても美味しかった」「いつも楽しみにしています」「ありがとう。ごちそう様」等の温かい声掛けに、みんなが笑顔で心も体もホカホカになり自己肯定感も高まります。老若男女が手を繋ぎ、共に汗を流し成果を共有する中で若い後継者が育っています。会場の松山福音センターは、防災協力事業所(日本防災士機構認証)になりました。



## 荷造りボランティアを継続21年・・・支援物資は18か国に1,202箱を発送

この1年間皆様から届けられた支援物資(衣類、文房具、楽器、日用品等)を25箱に梱包し5か国に発送・配布しました。

- ・2024.4 フィリピン(大4)    ・2024.7 インド(4)    ・2024.8 フィリピン(大2)    ・2024.10 フィリピン(大2)
- ・2024.10 マリ(3)    ・2025.1 コンゴ民主共和国(4)    ・2025.2 ブータン(3)    ・2025.4 フィリピン(大3)

◎支援物資の送付実績 1,202箱、送料経費総額 8,194,311円(2025.4 現在) ※私たちのできることを通して支援

今年度もマリのコナリー博士(現マリ大学教授)から支援報告が届きました。約17年前、彼は愛媛大学大学院(農学部)に留学し、「貧しい私の国にも支援物資を送ってほしい」と当団体事務所を訪ねてきたのです。以来、私たちは力を合わせ、新たな支援者も加わってマリの貧しい子供の教育支援を続けてきました。(計24回送付、100箱以上)



彼は、「日本は素晴らしい国だ。50年・100年後の子孫のために植林し森林を保全している。私はこれを学びサハラ砂漠に位置する母国のために貢献したい。」と夢を語り、帰国後はマリ大学でそれを実践しています。彼は日本を愛し、二人の息子に「吉郎、研二」と名付けました。国境を越えた同志の仲間や日本の皆様のご協力感謝します。

**<荷造りボランティアに参加してみませんか>** ※SDGs(日本のまだ使える良き物を海外の子供に届けて活用)の実践

【日時】偶数月の第3日曜日：14時～16時 【場所】アジアキッズケア事務所・駐車場有 ◎ボランティア参加証明書発行

※できれば、支援物資(夏物衣類、文房具、ピアノカ、バッグ、バスケット・サッカーボール等)をご持参ください。